

この他、かんきつのそうか病等、地域によっては多くなると予想されている病害虫があるので注意してください。

▼詳細はこちら

都道府県の発表する病害虫発生予察情報と併せてご利用ください。

○「令和7年度 病害虫発生予報第1号」の発表について（令和7年4月16日付け農林水産省プレスリリース）

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/syokubo/250416.html>

○これまでの病害虫発生予報についてはこちら

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/yosatu/index.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 消費・安全局 植物防疫課

（担当：岡田、城野、古澤）（03-3502-3382）

++・…… 施策情報 ……・++

◆令和7年度熱中症対策研修熱中症及び作業環境対策コースをオンライン開催します！

【農林水産研修所 つくば館】

この度、農作業中の熱中症の予防対策をテーマに、オンライン研修を実施します。いずれも定員100名、同じ内容を予定しています。

受講希望の方は、受講申請書に必要事項を記載の上、電子メール又は郵送により申し込みをお願いします。

普及指導員の皆様におかれましては、ご参加及び関係者への周知をお願いします。

日時：

- ・熱中症及び作業環境対策コース1：令和7年5月30日（金）10：50～15：35
申込期限：5月22日（木）
- ・熱中症及び作業環境対策コース2：令和7年6月24日（火）10：50～15：35
申込期限：6月16日（月）

▼詳細はこちら

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/tukuba/mito/kensyu/07netu.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 農林水産研修所 つくば館

（農業機械研修担当）（029-839-9481）

◆日晃そばグループが農林水産大臣賞を受賞しました！

（令和6年度第36回全国そば優良生産表彰） 【農産局 地域作物課】

一般社団法人日本蕎麦協会は、令和7年3月26日（水）に令和6年度第36回

全国そば優良生産表彰式を開催し、優良なそば生産農家・集団を表彰しました。

農林水産大臣賞は、日晃そばグループ（栃木県鹿沼市）、農林水産省農産局長賞は、農事組合法人ひばり野ファーム（富山県黒部市）、この他の賞と合わせて計7件のそば生産農家・集団が各賞を受賞されました。表彰式には、受賞者とともに普及指導員の方も出席され、表彰式後の懇親会では、会場において、多くのそばに関する情報交換を行う姿が見られました。

令和7年度の表彰に係る募集は、6月から10月にかけて行われる予定です。普及指導員の皆様におかれましては、優良生産農家・集団の積極的な推薦・応募にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。（募集が開始されましたら、本メルマガで配信予定です。）

▼受賞者の取組概要等の詳細はこちら

○全国そば優良生産表彰事業の概要（（一社）日本蕎麦協会 HP）

<http://nihon-soba-kyokai.or.jp/208402226912381124002077833391299832998734920244322010726989.html>

○第36回全国そば優良生産表彰式の受賞者の決定（（一社）日本蕎麦協会 HP）

<http://nihon-soba-kyokai.or.jp/uploads/1/2/3/9/123974412/2025-press.pdf>

○第36回全国そば優良生産表彰式の様子（（一社）日本蕎麦協会 HP）

http://nihon-soba-kyokai.or.jp/uploads/1/2/3/9/123974412/20250326_prize.pdf

※お問い合わせ先

農林水産省 農産局 地域作物課

（担当：五十嵐、石川、永井）（03-6744-2115）

=====

◆生分解性マルチ専門サイト立ち上げのお知らせ【農産局 農業環境対策課】

=====

令和5年度補正事業「生分解性マルチ導入促進事業」での事業成果の一つとして、ABA（農業用生分解性資材普及会）が生分解性マルチに特化したサイトを立ち上げました。

このサイトでは、生分解性マルチに関する基礎知識や使用方法の動画、導入事例の確認、導入コスト計算など、多様な情報が得られるようになっておりますので、ご活用ください。

普及指導員の皆様におかれましては、生分解性マルチの普及等を通じたプラスチックの排出抑制の推進について御協力をお願いします。

▼詳細はこちら

<https://bd-mulch.jp/>

※お問い合わせ先

農林水産省 農産局 農業環境対策課

(担当：小西) (03-3502-5956)

◆令和7年度 環境保全型農業直接支払交付金 見直し内容のお知らせ
【農産局 農業環境対策課】

環境保全型農業直接支払交付金では、地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い農業生産活動の取組を支援しています。本年度から以下の内容の見直しを行っておりますのでお知らせします。

<主な見直し内容>

- ・有機農業に対する交付単価を2000円増額し、14000円/10aとしました。
- ・堆肥の施用に対する交付単価を4400円/10aから3600円/10aとしましたが、堆肥の最低投入量を引き下げ、取り組みやすくしました。
- ・これまで地域限定だった炭の投入と総合防除(畦畔雑草管理、交信攪乱剤等)を、全国共通取組として支援を行うこととしました。

申請期間は、令和7年4月1日から6月30日までです。詳細は下記リンクをご参照の上、農地が所在する市町村にお問い合わせください。

普及指導員の皆様におかれましては、環境保全型農業のさらなる普及に協力をお願いします。

▼詳細はこちら

環境保全型農業直接支払交付金の取組事例

https://www.maff.go.jp/j/seisan/kankyo/kakyou_chokubarai/attach/pdf/mainp-1750.pdf

環境保全型農業直接支払交付金 HP

https://www.maff.go.jp/j/seisan/kankyo/kakyou_chokubarai/mainp.html

実需者・消費者向けチラシ

https://www.maff.go.jp/j/seisan/kankyo/kakyou_chokubarai/pdf/shouhi2.pdf

農業者・行政担当者向けチラシ

https://www.maff.go.jp/j/seisan/kankyo/kakyou_chokubarai/pdf/nougyousha.pdf

※お問い合わせ先

農林水産省 農産局 農業環境対策課

(担当：香野、長山、加藤) (03-6744-0499)

◆第2回みどり戦略学生チャレンジの参加登録を募集しています！

【大臣官房 環境バイオマス政策課】

=====

農林水産省では、2050 年に向けて、環境にやさしく、かつ生産性の高い、持続可能な食料・農林水産業の実現をめざし、2021 年に「みどりの食料システム戦略（みどり戦略）」を策定しました。

みどり戦略の実現に向けて、将来を担う若い世代の環境に配慮した取組を促すため、大学生、高校生等がみどり戦略に基づいた活動を実践する機会として「みどり戦略学生チャレンジ」を実施しています。

この度、「第2回みどり戦略学生チャレンジ」の参加登録を4月1日から開始しました。日ごろ学生と交流のある普及指導員の皆様におかれましては、本イベントの周知にご協力をお願いします。

▼ 詳しくはこちら（農林水産省プレスリリース）
https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/b_kankyo/250401.html

▼ みどり戦略学生チャレンジはこちら
<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/challenge.html>

▼ 第1回みどり戦略学生チャレンジの結果はこちら
https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/challenge_kekka.html

※お問い合わせ先

農林水産省 大臣官房 環境バイオマス政策課
(担当：片桐) (03-3502-8056)

=====

◆働きやすい労働環境づくりのための「雇用体制強化事業」公募開始しました
【経営局 就農・女性課】

=====

人材への投資を進める農業経営者がどんどん増えています！農業現場で「働き方改革」に取り組む皆さんを応援する「雇用体制強化事業」について、公募を開始しました。詳細は、(一社)全国農業会議所のホームページ(以下リンク先)をご参照ください。

【募集期間】令和7年3月31日(月)から随時募集
(応募者多数の場合、公募を締め切ることがあります。)

【支援額】1協議会※あたり2,000万円(定額)
または就労条件改善に取り組む農業経営体数×100万円のいずれか低い方が上限

※農業経営体3経営体以上と関係機関(地方自治体、JA等)1者以上で構成。条件を満たせば、農業経営体1経営体以上でも実施可能な場合あり。

※申請書類の記載例や活用事例も多数掲載。

普及指導員の皆様におかれましては、農業者の皆様への周知にご協力をお願いいたします。

▼詳細はこちら（事業実施主体：（一社）全国農業会議所 HP）

<https://www.nca.or.jp/koyoutaisei/>

※お問い合わせ先

農林水産省 経営局 就農・女性課

（雇用グループ）（03-6744-2160）

◆〈みどり戦略技術紹介〉 土壌センシング情報と作条施肥機を利用したキャベツに対する基肥可変施肥技術

【大臣官房政策課 技術政策室】

みどり戦略技術紹介では、毎月、環境負荷の低減に取り組む農業者の皆様に関与する技術をご紹介します。

キャベツ作では収穫機を使用した一斉収穫の取組を進めているところですが、圃場内歩留まりの向上や生産量の安定化を図るためには、圃場内の土壌要因により生じる生育の不均一性を改善する必要があります。そこで、衛星画像による生育・土壌診断に基づく可変施肥により、生育が悪い場所の収量底上げや、生育が良い場所の減肥・収量維持が可能となり、キャベツ生育の斉一化を実現することができます。

本技術の詳しい情報については、みどり技術カタログをご覧ください。

普及指導員の皆様におかれましては、本技術をはじめ、カタログに掲載されている技術の活用をご検討いただき、生産現場で広く活用されるようご指導及びご協力をお願いします。

▼詳細はこちら

「みどりの食料システム戦略」技術カタログ（分割版：露地野菜）（PDF：6,420KB）p.8 土壌センシング情報と作条施肥機を利用したキャベツに対する基肥可変施肥技術（農林水産省 Web）

https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/03_midori_catalog_4_vege.pdf#page=8

「みどりの食料システム戦略」技術カタログ（農林水産省 Web）

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/catalog.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 大臣官房 政策課 技術政策室

（担当：小花和、平野）（03-3502-3162）

※メルマガの配信登録はこちら

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>

※バックナンバーはこちら

https://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/hukyu/h_mailmag/index.html

※PDF形式のファイルの閲覧について

メールマガジンに記載したURLで、一部PDF形式のものがあります。

PDFファイルをご覧いただくためには農林水産省ホームページ
⇒ <https://www.maff.go.jp/j/use/link.html>

「3 PDFファイルについて」をご覧になり、「Get Adobe Reader」
のボタンでAdobe Readerをダウンロードしてください。